



六角石幢



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	ろっかくせきどう
所在地	新見市神郷下神代
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	康安2年(1390)の造立。安山岩製。総高1.20m。この石幢は、下から基礎・幢身・笠・相輪で構成されているが、幢身のみが当初のもので、他は江戸時代の宝篋印塔の一部を組み合わせたものである。幢身は六角形の柱状で、背面を除く五面に仏像が陽刻されている。また、年銘が背面に刻まれている。この石幢のある神応寺は、応安6年(1373)に開かれた臨済宗寺院である。
アクセス方法	JR神代駅から徒歩20分
公開状況	入管時間10:00～16:00
設備	駐車場  トイレ 
備考	